

産業用ディーゼルエンジン

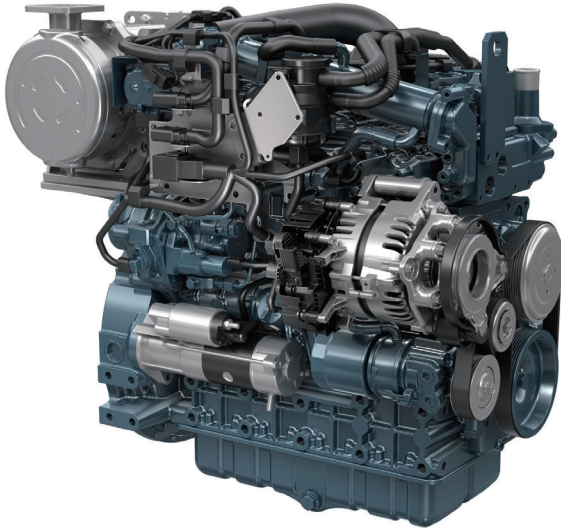
Kubota 07 シリーズ (4気筒)



V3307 Micro Hybrid (P0 Hybrid)

定格出力

55.4 kW @ 2600 rpm



掲載されている写真は製品のイメージを表すもので、実際の仕様や外観は異なる場合があります。

機能と特長

開発工数を最小限に。車両へ搭載しやすいシンプルなシステム

クボタマイクロハイブリッドエンジンは、既存エンジンモデルに主な3つの部品：DCコンバーター、リチウムイオンバッテリー、モータージェネレーターを取り付けた、シンプルな設計となっています。ハイブリッドシステムの制御は、車両からの信号ではなく、エンジンECUで行います。これは、クボタエンジンの既存ECUのソフトウェアを書き換えることで実現可能です。ハイブリッド制御のための追加ECUは不要です。また、コモンレールエンジンとほとんど変わらないサイズで、搭載性を維持しています。

高トルク、高レスポンス

モーターならではのクイックレスポンス、高トルクで、作業効率のアップが可能。低回転時にはモーターが最大で70Nmのトルクアシストをします。例えばV3307-CR-TIエンジンにモーターを取り付けた場合の最大トルクは400Nm以上となります。

ランニングコスト低減

例えば、一瞬の高負荷のために56kW以上のエンジンを搭載しているアプリケーションにおいては、モーターで10kWの出力を補助する56kW未満のクボタマイクロハイブリッドエンジンへの置き換えが検討できます。置き替えることができた場合、出力56kW以上のディーゼルエンジンで必要となる後処理装置SCRがないため、その分、搭載スペースに余裕ができます。SCRが不要になれば、尿素水も必要ありません。メンテナンスの手間が省け、尿素水のランニングコストが不要になります。さらにモーターがアシストすることで、燃料削減の効果が期待できます。

お問い合わせ

<https://kubota-enginejapan.co.jp/contact/>



一般仕様

エンジン	機関名称		V3307-CR-T
	適合排出ガス規制		米国 EPA/CARB Tier4, 欧州 Stage V
	形式		立形水冷4サイクルディーゼルエンジン
	気筒数		4
	気筒径と行程	mm (in)	94 × 120 (3.70 × 4.72)
	排気量	L (cu.in)	3.331 (203.27)
	過給方式		過給機
	排出ガス後処理装置		Diesel Oxidation Catalyst (DOC) + Diesel Particulate Filter (DPF)
	定格出力/回転数 ^{*1}	kW (HP) / rpm	55.4 (74.3) / 2600
	最大トルク/回転数 ^{*1}	Nm (lb-ft) / rpm	265 (195.5) / 1500
	燃焼方式		直噴式
電動発電機	燃料供給装置		コモンレールシステム
	形式		AC synchronous motor
	定格出力	kW	10
	外観寸法 (排出ガス後処理装置/無) ^{*2}	mm (in)	900 × 592 × 753 (35.4 × 23.3 × 29.6)
乾燥重量 ^{*2}	kg (lb)	330 (727.5)	

モータージェネレーター (電動発電機) バッテリー仕様

形式		リチウムイオン
電圧	V	48

諸元情報は、事前通知なく変更される場合があります。
外観寸法及び乾燥重量は、クボタの標準的な仕様に基づいた数値です。
実際の外観寸法及び乾燥重量は、仕様によって異なります。

^{*1}: SAE J1995に基づくグロス値
^{*2}: 冷却ファンを除く値

株式会社クボタ 株式会社クボタエンジンジャパン

BSP-V3307-MH-P0-Hybrid2303-R3-EPSPD-208098

For Earth, For Life

